



假名垣魯文作
一魁齋芳年画

五編下

へ13
3221
9

五編上

へ13
3221
8

黄人垂花猫目假面
こぶのそよれとめくろ



こぶしのそとにこのめくろ
黄金花猫目假面

五編上

へ13
3221
8

黄金の

を那

猫

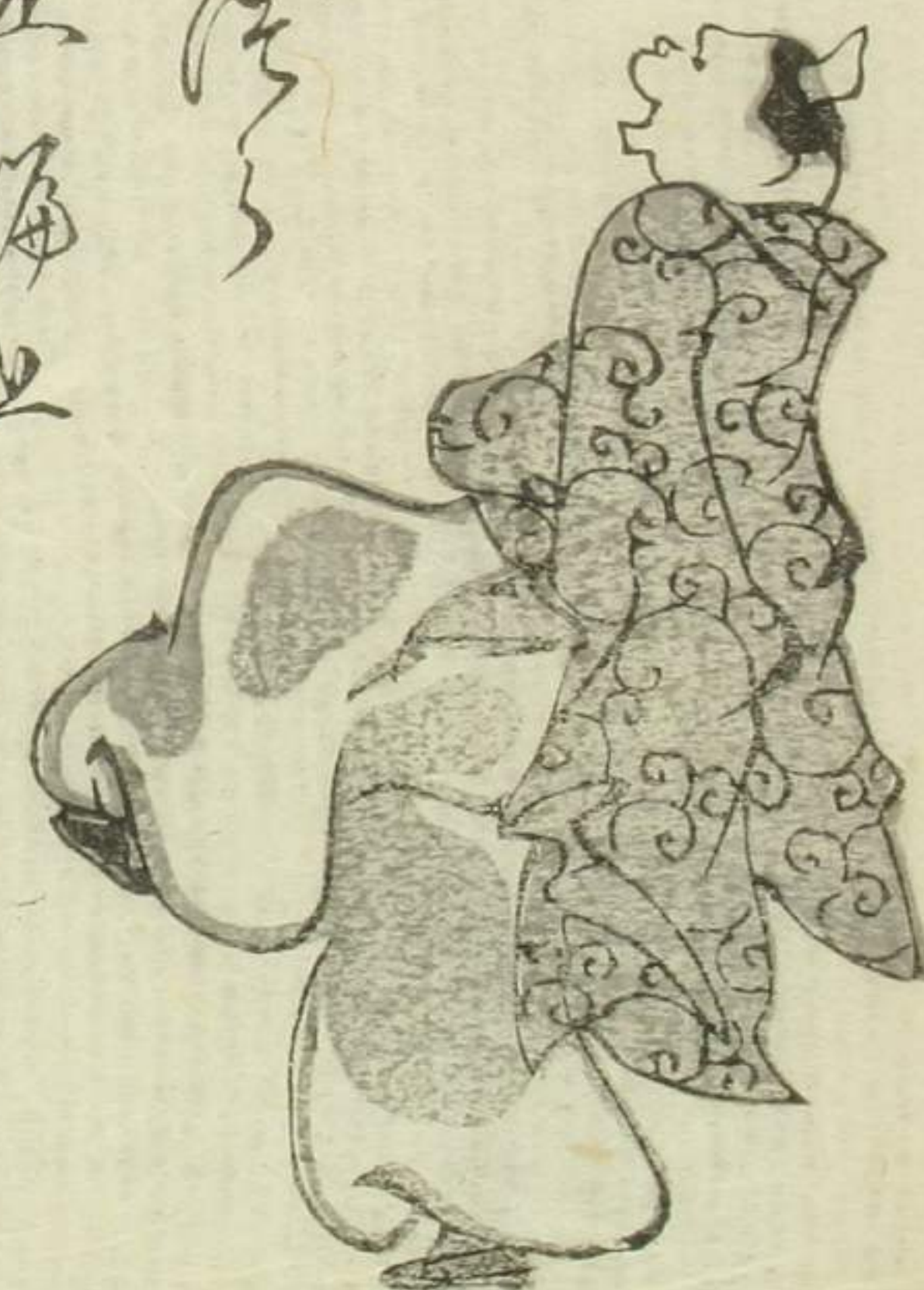
目

五

乃文さく

手

松林文彦



手暗

宇治拾遺 皇朝臣が子の子の子と讀

物語を種より。歌字尽し偽作ある。その種本の孫彦

玄孫柳亭公羽が例の戯墨水木が所作を翻案は了。

扇の猫骨を婢史あり。彼四季御所櫻の狂言ハ

戀ある猫を羨とて姫の生身猫に化し。胡蝶

狂ふ意趣あるを彼と是と反覆あり。猫の世界を人界に

綴合せ。急案拙作目前暗闇の目撃又作者の

孫彦玄孫子子の草子の子子子と号



慶應三卯春

假名垣魚目文戯記





水木辰之助描之所作

京傳翁ノ奇跡考ハ云水木辰之ノ

元禄中諸人の變らむ歌舞妓の

女形あり元禄四年江戸に下り

市村竹之^こゑ座^さ顔見^{かん}世^よ四季^{しき}

之のちややくまゝにせんめ
 臣の承宣の受節二台国の會
 根所櫻とて四番續の社言不

辰之町春如の役等一番目の金
 の所作第三番目の苗力

野作をいふ大評判ありと

焦尾琴しやうび其角きくが花はなのゆめ

胡蝶こふた不ふ似に之し辰ちん

之助のすけと吟よめ了



(二)

[illegible]

つぎに「はねてくまなくめぐりてさるくねんのすめふ
 ひとくろく」といふ名のきまぐらうりんあきぬも
 びくことばせり あぢりてさるあきぬ詩ふ
 びくあぢりてさるあきぬ詩ふ
 びくあぢりてさるあきぬ詩ふ
 びくあぢりてさるあきぬ詩ふ

たま

さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ



薄雲

さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ



はてどうもわののちをさる
 りくろくといふあきぬ詩ふ
 りくろくといふあきぬ詩ふ
 りくろくといふあきぬ詩ふ
 りくろくといふあきぬ詩ふ
 りくろくといふあきぬ詩ふ
 りくろくといふあきぬ詩ふ
 りくろくといふあきぬ詩ふ
 りくろくといふあきぬ詩ふ
 りくろくといふあきぬ詩ふ

さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ

さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ

さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ
 さるあきぬ詩ふ

居續の客

つぎにねどもと云ふがねえのかう
 一やふの市街ちやまにめ
 てありうくまりて一バ
 らのあんのへんトも
 るりじごてへんやう
 四うふとあけ五
 けうまふりやうま
 ころにえく一



たま

ねんねと

四のあんのへんやうと云ふ
 一やふの市街ちやまにめ
 てありうくまりて一バ
 らのあんのへんトも
 るりじごてへんやう
 四うふとあけ五
 けうまふりやうま
 ころにえく一



猫柳

①とのせいののけうとん
 一やふの市街ちやまにめ
 てありうくまりて一バ
 らのあんのへんトも
 るりじごてへんやう
 四うふとあけ五
 けうまふりやうま
 ころにえく一

芳年画

其二

[illegible]

魚日文作



ॐ नमो भगवते वासुदेवाय

○寶袋

鼠草紙

文彙作

曾文校

芳年画

わさのまじり
あふひちまー
山とちあがを
ゆきふひてあこ
そめざんぬ
はりのやうく
あふひちまー
あふひちまー
えん初へ
よりひひつぎ
とのせんぬと
ゆきあふひちまー
はりのやうく
あふひちまー
あふひちまー

000

松林堂

[illegible]

親鸞聖人御一代記 全一冊

同廿四輩圖會全一冊

傳教大師御一代記 全一冊

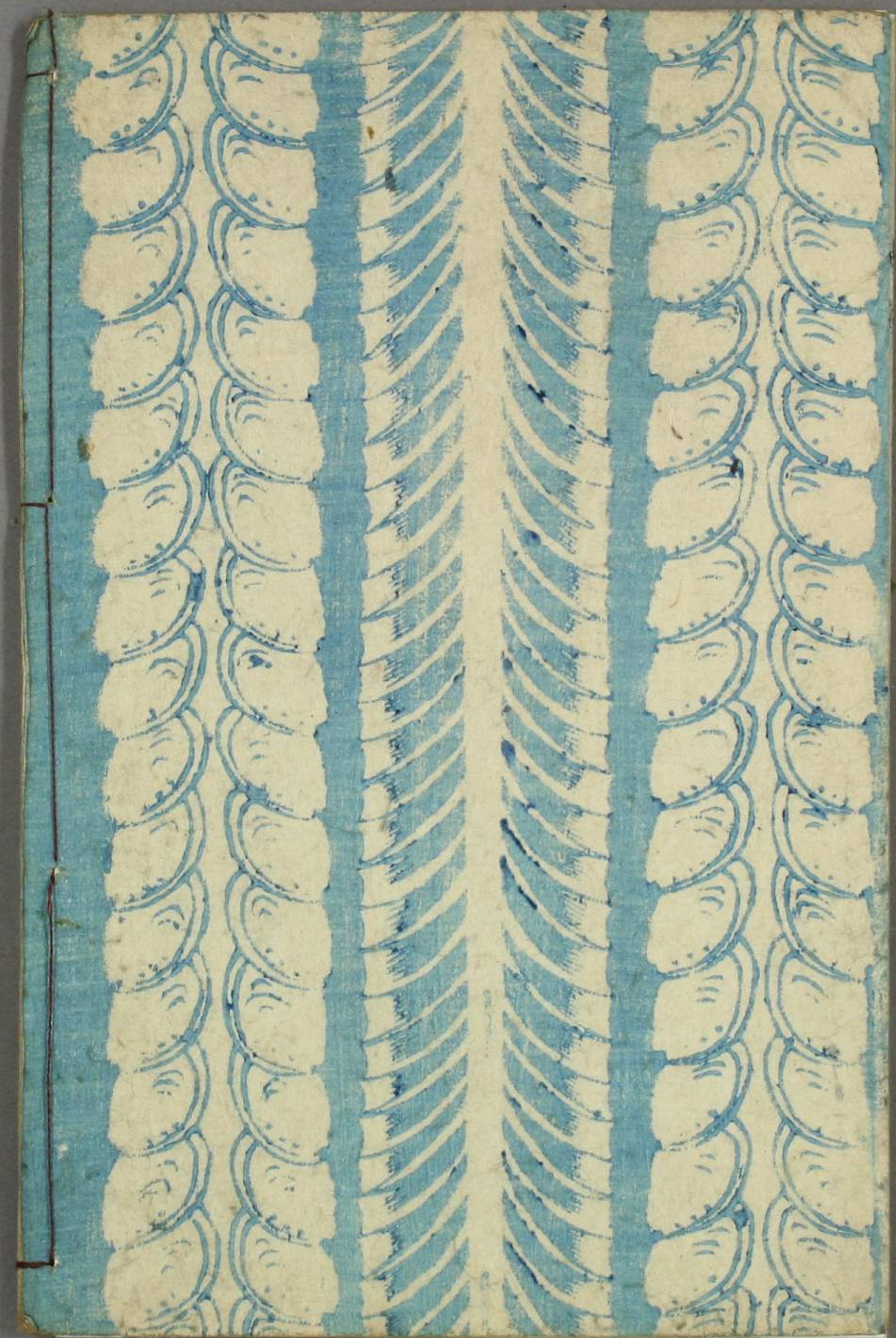
一休和尚一代記 全一冊

圓光大師御一代記 全一冊

蓮上人御一代記 全一冊

西行法師一代叢書 全一冊

弘治大師御一代記 全一冊





一魁齋芳年画

假名垣魯文作

五編下

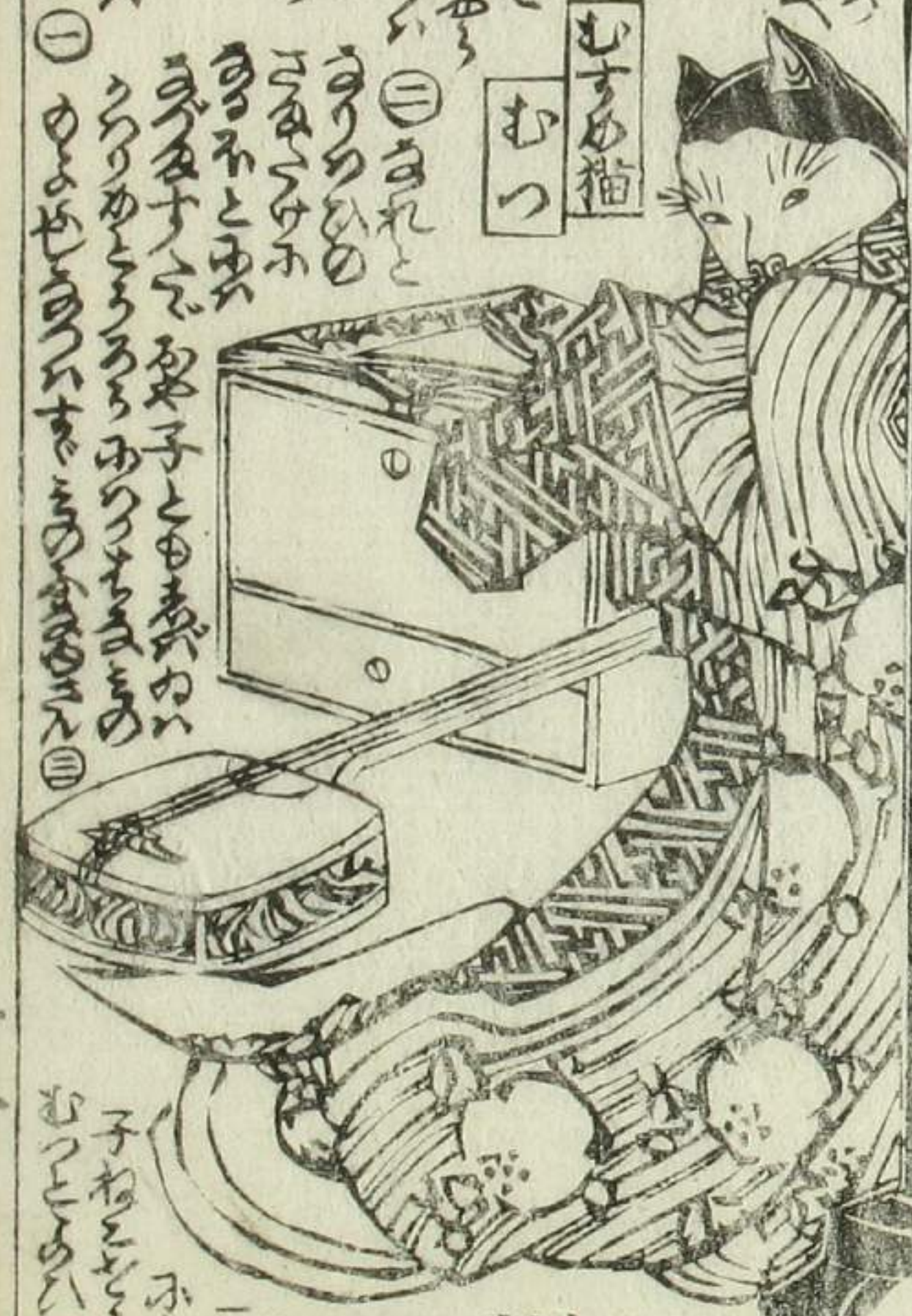
へ13
3221
9

後堂板

芳年画



上平



④ そのまゝの茶ねと
さういふやうな
がらあつたものの
めをせぬもの
さすのせん

もてつ
あすい
とむす
きんぎょ
りつかり
あそろひ
みそまつじ
ねこつ三
るりなり
とのやめ
うらやあち
かねとあり
かねとせ
つひと名
つけぬこと
ではあると
よひながら
二ひなのあ
ふくいつひに
子ねとどうもし
むつとよい

〔茶〕

つるつるうさぎをひた
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ

なま

①百目

まじあけの
おせいんと
のんちあけの
まじあけの
けつれうさぎ
おのんちあけの
まじあけの

すけ

まじあけの
おせいんと
のんちあけの
まじあけの
けつれうさぎ
おのんちあけの
まじあけの



むつ



②其二

つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ

つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ

つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ

ねえあけの
おせいんと
のんちあけの
まじあけの
けつれうさぎ
おのんちあけの
まじあけの

どろち猫

むすこ猫

や二

や二



つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ
つるつるうさぎ

七

魯文作芳年畫



山東の朧月を
河津の流し旗
鐘花描眼曼
初編 假名垣魯文作
追出版 芳虎画

故人京山翁の翁の双紙書 時好ふ叶い 星霜疾くも十歳をまた
千 流行の送る板刻先年焼失く 製本あると稀なるは常々貴族の
思ふもの 今般あるふ愚案を設け 原本ある花街と戯場の世界
を脚色加ふるふゆへに 當時のてらうと変身し 重藤の目先と替々
引續けりふ入泰の三編の最要なる富の猫王の情猫の福と共の鮎貝の
手紙を掲げ標の下の佐信居半房尻の標が映るものなる
かゝる あり世の世のころさなること 三編の時代あり 芝居かその
画連不猫の怪談 第四編へ入る 回数なるは後にはいふまに
あれと伝ふとせしむる人てや

地本草紙問屋 松林堂 藤岡屋梓 問屋

